

## VI 救急・救助， 捜索活動

栗原市栗駒耕英地区及び花山地区で大規模地滑り， 林地崩落が発生したことにより， 行方不明者の捜索活動や負傷者の救急救助活動が長期化した。

特に， 行方不明者の捜索活動は難航を極め， 自衛隊， 消防， 警察を中心に多くの人員が対応に当たった。（自衛隊の活動状況は「V 自衛隊等の災害派遣活動」参照。）

### 1 緊急消防援助隊の活動

#### 【派遣要請状況】

県では，被災消防本部である栗原市消防本部からの派遣要請を受け，栗原市の被害が甚大であり，緊急消防援助隊の応援を受ける必要があると判断して，6月14日午前11時38分に消防庁に対して県として初めて緊急消防援助隊の派遣を要請した。

6月19日午前9時に消防庁への派遣要請解除の報告を行うまでの6日間，1都11県から地上部隊132隊，航空部隊10隊の派遣を受けた。

#### 【活動概要】

##### [陸上部隊の活動概要]

##### (1) 人命の救出・救助活動

表VI-1

活動地区	活動内容	活動期間	活動部隊	活動結果
栗原市栗駒 駒の湯温泉	土砂崩れによる建物崩壊現場における宿泊者等の行方不明者の捜索，救出活動	6/14～6/18 (5日間)	秋田県隊 山形県隊 福島県隊 東京都隊	行方不明者7人のうち5人を救出 (死亡確認)
栗原市花山 熊倉	土砂崩れによる工事現場における土木作業員の救出活動	6/15～6/18 (4日間)	埼玉県隊 千葉県隊	
栗原市栗駒 行者の滝	行方不明者の捜索	6/16～6/18 (3日間)	埼玉県隊	

##### (2) 搬送支援活動

救助活動現場への活動隊員等の輸送

救援物資(水，食糧等)，資機材の輸送

##### [航空部隊の活動概要]

##### (1) 災害の情報収集

イワカガミ平，駒の湯温泉，荒砥沢ダム周辺，湯浜温泉での被災情報収集

VI 救急・救助，搜索活動

(2) 人命の救出・救助活動

表VI-2

活動地区	活動内容	活動期間	活動部隊	活動結果
栗原市栗駒 イワカガミ平	孤立者の救助支援活動	6/14 (1日間)	秋田県隊 新潟県隊	孤立者 33 人を救出
栗原市栗駒 ハルザダム栗駒	孤立者の救助支援活動	6/14 (1日間)	山形県隊 群馬県隊	孤立者 22 人を救出
栗原市花山 湯ノ倉温泉	孤立者の救助支援活動	6/14 (1日間)	秋田県隊	孤立者1人を救出
	行方不明者の搜索活動	6/14～6/15 (2日間)	秋田県隊 山形県隊	
栗原市花山 白糸の滝	行方不明者の搜索活動	6/15, 6/17 (2日間)	埼玉県隊 山形県隊	
栗原市花山 温湯温泉	行方不明者の搜索活動	6/15 (1日間)	富山県隊	
栗原市花山 全区域	花山ダム上流のせき止め 湖決壊の恐れに伴う警戒 避難広報活動	6/18 (1日間)	山形県隊 福島県隊	

(3) 搬送支援活動

救助活動現場への活動隊員等の輸送

救援物資(水，食糧等)，資機材の輸送

[各機関の受入・活動状況]

(1) 陸上部隊の状況 (合計：132部隊501人)

表VI-3

機関名	部隊数 (隊)	人員 (人)	派遣要請・解除日時	主な活動内容
仙台市	2	9	6月14日午前11時38分要請 6月19日午前9時00分解除	指揮支援部隊長 指揮支援隊長
秋田県	40	146	6月15日午前10時10分要請 6月19日午前9時00分解除	不明者の搜索 (栗駒駒の湯温泉)
山形県	36	143	6月14日午後2時15分要請 6月19日午前9時00分解除	不明者の搜索 (栗駒駒の湯温泉)
福島県	35	122	6月15日午後1時21分要請 6月19日午前9時00分解除	不明者の搜索 (栗駒駒の湯温泉)
埼玉県	5	23	6月14日午後5時30分要請 6月19日午前9時00分解除	不明者の搜索(栗駒行者の滝) 救出活動(花山熊倉)
千葉県	4	17	6月14日午後5時30分要請 6月19日午前9時00分解除	救出活動 (花山熊倉)
東京都	10	41	6月15日午前10時10分要請 6月19日午前9時00分解除	不明者の搜索 (栗駒駒の湯温泉)

(2) 航空部隊の状況（合計：10部隊72人）

表VI-4

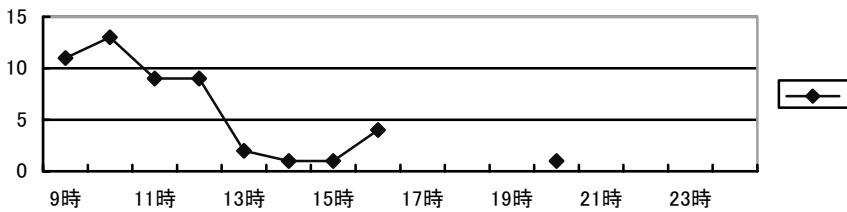
機関名	部隊数 (隊)	人員 (人)	派遣要請・解除日時	主な活動内容
秋田県	1	8	6月14日午前11時38分要請 6月19日午前9時00分解除	救助活動 (栗駒イワカガミ平) 人員搬送
山形県	1	6	6月14日午前11時38分要請 6月19日午前9時00分解除	救助活動 人員搬送・物資搬送
福島県	1	8	6月15日午後1時21分要請 6月19日午前9時00分解除	情報収集活動 人員搬送・物資搬送
群馬県	1	9	6月14日午前11時38分要請 6月19日午前9時00分解除	救助活動
埼玉県	1	5	6月14日午後1時00分要請 6月19日午前9時00分解除	情報収集活動
東京都	1	6	6月15日午前10時10分要請 6月19日午前9時00分解除	人員搬送 物資搬送
新潟県	1	7	6月14日午前9時23分要請 6月17日午前10時45分解除 (岩手県からの要請により活動)	救助活動 (栗駒イワカガミ平)
富山県	1	7	6月15日午前8時33分要請 6月19日午前9時00分解除	人員搬送 物資搬送
石川県	1	8	6月15日午前8時33分要請 6月19日午前9時00分解除	人員搬送 物資搬送
山梨県	1	8	6月15日午前8時33分要請 6月19日午前9時00分解除	人員搬送 物資搬送

2 消防本部の活動

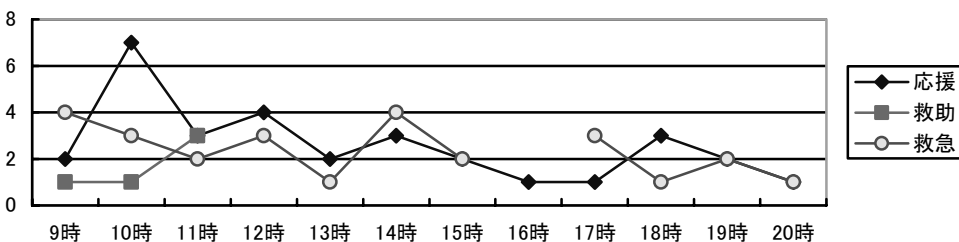
【栗原市消防本部】

被災当日の119番通報は，正午までに42件であった。一時的に通報が集中し，救急，救助事案の対応に追われた。時間毎の119番通報状況は図VI-1のとおりであり，正午までに通報が集中した。救急出動件数，救助出動件数，消防隊応援隊数の状況は図VI-2のとおりである。

図VI-1 119番通報数の推移



図VI-2 救急出動件数，救助出動件数，消防隊応援隊数の状況

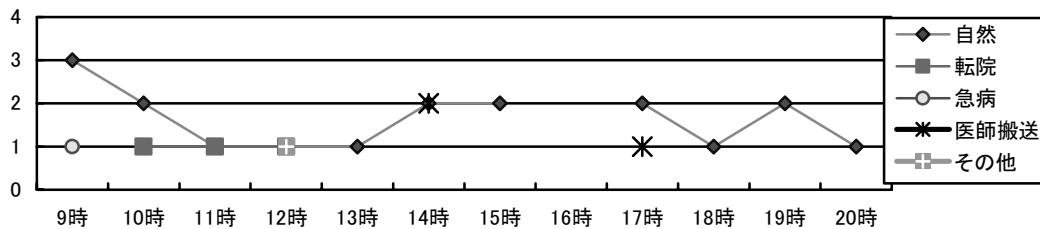


## VI 救急・救助，捜索活動

救急要請に備え、栗原市立3病院に職員を派遣して救急車の受け入れ調整を図るとともに、発災直後の119番対応に出動したが、救急要請が輻そうしたことから、登米市消防本部、大崎消防本部及び仙南地域広域行政事務組合消防本部（以下「仙南消防本部」という。）にそれぞれ救急隊1隊を応援要請し、救急事案の対応に当たった。

当日の救急件数は図VI-3のとおりである。

図VI-3 救急出動状況



また、時間経過とともに仙台市消防局のヘリテレ映像と県防災ヘリからの情報も入り、山間地域の被害の全容が明らかになり、午前11時38分に宮城県知事に対し、緊急消防援助隊（航空部隊）派遣要請を行った。

さらに、午後2時に宮城県知事に対し、緊急消防援助隊（陸上部隊）派遣要請、午後4時37分に宮城県広域消防相互応援協定に基づき、県内11消防本部救助隊の応援要請を行った。

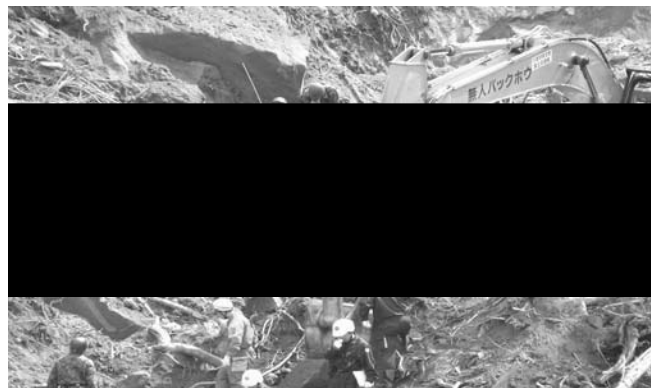
花山湯浜現場において、仙台市航空隊と栗原市消防本部救助隊で崩落現場の埋没車両から生存者2人を救出したほか、翌日早朝、同現場から仙台市航空隊が要救助者1人を救出した。また、地震発生当日、3人が生き埋めになった花山熊倉地区の崩落事故現場から仙台市消防局救助隊が午後7時頃に2人を救出、翌日に緊急消防援助隊埼玉県隊、千葉県隊を投入し、さらに無人重機、救助犬を投入して6月20日に残る1人を発見救助し、活動を終了した。

栗駒の湯温泉埋没事故現場においては、6月15日午後1時30分頃に3人を救出、16日午前10時40分頃に1人を救出、さらに、18日午後5時30分頃に1人を救出し、その後、重機を投入して捜索活動を続け、7月16日に活動を終了した。

写真VI-1



写真VI-2



栗駒行者の滝周辺の救出，捜索活動は，6月16日から7月6日まで継続した。活動当初は人海戦術が主であったが，7月1日から重機を投入して捜索を継続したが，要救助者の発見には至らなかった。

写真VI-3



写真VI-4



#### 【大崎消防本部】

地震発生直後，大崎消防本部では管内の病院に被害状況及び患者の受け入れの可否について照会した。多くの病院で目立った被害がなく，患者の受け入れが可能との回答が得られた。

救急出動は，地震発生から5時間の間に17件の出動があり，15人を搬送した。主な負傷原因としては，避難する際に転倒負傷したものであった。

救助出動は，1件の出動があり，午前9時11分，大崎市内パチンコ店のエレベーターが停止し，ドアが解放できないとの通報により，古川救助工作車以下3台の車両が出動した。活動の結果，エレベーター内部に要救助者はいなかった。

### 3 消防団員の活動

#### 【県内各消防団の活動】

災害時においては，消防団は各市町村長の指示により活動を行うこととなっている。

今回の災害では県内36市町村（平成20年6月14日時点）のうち，27市町村で消防団が活動を行い，活動内容は地域の巡回・警戒配備，被害情報の収集等であり，必要に応じて消防本部等と連携を図り活動を行った。栗原市を除く市町村においては，翌日の15日までに活動を終了している。

県内各消防団の主な活動内容は表VI-5のとおりである。

表VI-5 県内各消防団の主な活動内容（複数回答）

内容	消防団数
情報収集	12
被害状況確認	14
地域巡回	20
広報活動	8
警戒活動	2
警戒本部活動	3

【栗原市消防団の活動】

栗原市消防団は，地域の巡回，警戒などの情報収集活動のほか，災害対策本部活動，行方不明者の搜索，断水地域での給水活動，降雨対策としてブルーシートの配布や土のうづくり，土砂災害の警戒活動等の活動を行った。

行方不明者の搜索については，6月24日以降，自衛隊，県内消防広域応援による搜索活動の終了を受けて消防団が活動に加わり，7月25日まで22日間に渡り延べ577人が搜索活動を行った。

そのほか，消防職員が搜索活動に従事するため，栗原市内3つの分遣署に消防団員を24時間交代で配置し，7月4日まで11日間にわたり，延べ221人が従事した。

このように，栗原市消防団の活動内容は，多岐に渡っており，組織力及び機動力を活かした活動は，災害対策に大きな役割を果たした。

表VI-6 栗原市消防団の主な活動状況

内容	延出動 人 員	備考
栗原市災害対策本部活動	20	
消防団幹部会（震災対応）	80	
被害状況巡回調査活動	792	
搜索活動	577	駒の湯・行者滝周辺
土砂災害警戒活動（降雨対策）	354	
給水活動	117	
栗原市築館消防署3分遣署対応	221	
その他活動	27	漏油撤去作業，車両通行規制時車両誘導活動，被災住宅応急対策，震災対策来訪者対応
合 計	2,188	

4 広域緊急援助隊の活動

全国15都道県警察から広域緊急援助隊約320人の支援を受け，6月14日から6月20日までの間，被災者の救出救助及び行方不明者の搜索活動を実施した。

5 県警の活動

地震発生後，直ちに，宮城県警察本部に本部長を長とする災害警備本部を設置するとともに，県下24警察署に署長を長とする署災害警備本部を設置して対応に当たった。

災害警備活動は，地震発災直後から被災者の救出救助を行ったほか，約1ヶ月間に渡り，延べ約6,000人の機動隊員等を投入して，行方不明者の搜索活動を行った。

搜索活動は，地震被害が山間部に集中したことから，陸路が途絶した被災地域に対しては，レンジャー隊員がヘリコプターからホイス降下して搜索を実施するなど，警察航空隊のヘリコプター延べ約130機を運用し，余震による落石や土砂崩れが発生する危険な状況の中で行った。

また，栗原市長の要請により，平成21年5月21日から土砂撤去等に使用する重機の搬入が可能になった被災現場で再搜索を実施し，白糸の滝の吊り橋崩落場所において行方不明者2人（平成21年6月9日），駒の湯温泉跡地において行方不明者2人（平成21年7月1日）を発見した。